

県民のみなさんへ

マナーからルールへ

改正された健康増進法が、2020年4月1日より全面施行されます。

2018年7月、健康増進法の一部を改正する法律が成立しました。
このことで、望まない受動喫煙を防止するための取組は、マナーからルールへと変わります。



室内原則禁煙



20歳未満は喫煙
エリア立入禁止



喫煙室の
ある場合も

喫煙室がある
店舗・施設も



標識掲示
あり

喫煙室には
標識掲示義務



最大
30万円

違反者には
過料あり
※事業者の場合
最大50万円

改正法は、以下のような3つの基本的な考え方を趣旨とし、関係する権限を有する人々が講ずる措置を定めたものとなっています。

【基本的考え方 第1】「望まない受動喫煙」をなくす

受動喫煙が他人に与える健康影響と、喫煙者が一定程度いる現状を踏まえ、屋内において、受動喫煙をさらされることを望まない者がそのような状況におかれることのないようにすることを基本に「望まない受動喫煙」をなくす。

【基本的考え方 第2】受動喫煙による健康影響が大きい子ども、患者等に特に配慮

子どもや20歳未満の者、患者等は受動喫煙による健康影響が大きいことを考慮し、こうした方々が主たる利用者となる施設や、屋外について、受動喫煙対策を一層徹底する。

【基本的考え方 第3】施設の類型・場所ごとに対策を実施

「望まない受動喫煙」をなくすという観点から、施設の類型・場所ごとに、主たる利用者の違いや、受動喫煙が他人に与える健康影響の程度に応じ、禁煙措置や喫煙場所の特定を行うとともに、掲示の義務付などの対策を講ずる。その際、既存の飲食店のうち経営規模が小さい事業者が運営するものについては、事業継続に配慮し、必要な措置を講ずる。

施行は2020年の全面施行へ向けて段階的に進められる予定です。一部の施設については2019年7月から施行済みです。

2019年		2020年	
	7月	9月(ラグビーW杯)	4月
			7月(東京オリパラ)
1/24	一部施行①(喫煙する際の周囲の状況への配慮義務)		
	7/1	一部施行②(学校・病院・児童福祉施設等、行政機関) 原則敷地内禁煙	
		4/1	全面施行(上記以外の施設等) 原則屋内禁煙

詳細は下記ホームページでご確認いただくか、長野県庁健康福祉部健康増進課または最寄の保健福祉事務所健康づくり支援課へお問い合わせください。

<https://jyudokitsuen.mhlw.go.jp>

検索

なくそう！望まない受動喫煙

長野県庁健康福祉部 健康増進課 電話026-235-7116